



みんなでやるぞう! 流域治水

流域治水とは、これまでのように川の堤防を強くしたりダムを造ったりするだけでなく、田んぼや校庭、家ごとの貯水タンクなどを活用して「あふれた水を一時的にためる場所」をまちの中に増やし、みんなで被害を減らそうとする考え方です。

ポイント! 流域治水はあらゆる関係者が「自分事」として、取り組むことが重要です。

◀流域治水の目的▶

降雨流域全体（河川区域、集水域、氾濫域）で対策を総動員し、

- ①豪雨時に雨水を貯留すること等により、避難する時間を少しでも稼ぐ。
- ②取組全体を通して、防災意識を向上させ、住民の確実な避難行動に結びつける。

◀取組事例▶

河川整備・監視体制強化、防災学習、避難訓練、雨水貯留タンク、田んぼダム、校庭貯留など



雨水貯留タンクの例

子ども達が遊べ、 鳥取駅前の魅力になる 山白川の未来を描こう！



鳥取大学工学部環境計画研究室 宮本善和

鳥取駅の南側に山白川が流れる水辺空間があることをご存じでしょうか？鳥取駅では50年に1度の駅周辺再整備事業も予定されており、次第にこの駅前の水辺に注目が集まっています。そこで、わたしたちの研究室では山白川の魅力を高めて、駅前の憩いの水辺として、川遊びの場として、そして、市民が集う場とするための方法を探るワークショップ「山白川かわみち懇談会」を連続的に開催しようと考えています。

山白川は、千代川中流の大口堰で千代川の水を取水し、流域の田畑を潤してきた用水路であり、洪水を流す機能を持つ河川でもあります。鳥取駅南の山白川は昭和60年に開催された「わかとり国体」の際に、水辺に親しむ整備がされ、階段、流れ、テラス、飛び石、遊歩道、四阿などがあります。周囲には鉄道記念物公園や鳥取市中央図書館も位置しています。わたしたちの研究室では、この鳥取駅南の山白川の水辺を駅前の憩いの場として、子供たちの川遊びの場として、市民が集う場としてもっと活用されるようにするにはどうしたらいいか調査研究を進めてきました。今までに、カワムツ、オイカワ、ムギツク、ドンコなどの魚類が生息しており、子供たちに魚とりのコツを教えると、顔が輝き、川遊びが活発になることが分かっています。また、市民はこの水辺を散歩、飲食、人との会話、休憩の場としてもっと利用したいというニーズがあります。実際に、水辺の傍にテーブル、イスを置いたり、ヨガ教室を開催したり、キッチンカーのカフェやフードのお店を出店したりすると市民の利用が活発になり、若者が交流を育む場となることも分かってきました。一方で、いくつかの問題点も分かっています。年に数日は水が流れなくなる期間があり、生き物の生息に影響があること、流れの中のごつごつした石が子供の川遊びの支障になること、鉄道記念物公園の境界の植え込みが水辺との一体感を弱めていることなどです。

わたしたちは多くの市民の皆さんと一緒に、山白川の問題点を改善し、魅力を向上させ、水辺の利用を活発にするにどうしたらいいかを語り合い、未来像を描いていくワークショップを連続的に開催する予定です。ぜひ、関心がある多くの方にご参加を頂きたく、「山白川かわみち懇談会」への参加者を募集します。どなたでも参加できますので、以下から参加申し込みをお願いします。

- ◆ 対 象：山白川の水辺に関心のある方
(連続参加できる方、20～30人程度)
- ◆ 開催期間：令和8年8月～令和9年3月に3～4回開催
(平日夜もしくは休日に開催)
- ◆ 開催場所：鳥取市役所、鳥取市民交流センターなど
- ◆ 申込期限：令和8年8月10日(月)まで
- ◆ 申し込み：<https://forms.gle/nhKXgHoaq855hLHPA>
- ◆ 問合せ先：鳥取大学工学部社会システム
土木系学科環境計画研究室(担当：宮本、道前)
☎0857-31-5318
Email: miyamoto@tottori-u.ac.jp



申し込みはこちら



地域の力で蘇る 雛橋



60人の手で美しい赤色に

塗装が剥がれて色褪せていた用瀬町の「雛橋(ひいなばし)」を、地域住民の手で塗り替えるイベントが、令和8年3月14日に開催されました。

当日は、小・中学生24人を含む約60人が参加。募集開始からわずか2日で定員に達するなど、多くの関心が寄せられ、地域に愛される橋であることを改めて実感する機会となりました。

当日はあいにくの雨模様でしたが、一人ひとりが丁寧に欄干を塗り重ね、橋は見違えるような鮮やかな赤色へと生まれ変わりました。今回の取り組みを通じて、地域のつながりと郷土への愛着がさらに深まることが期待されます。

(鳥取短期大学非常勤講師 八百谷和子)

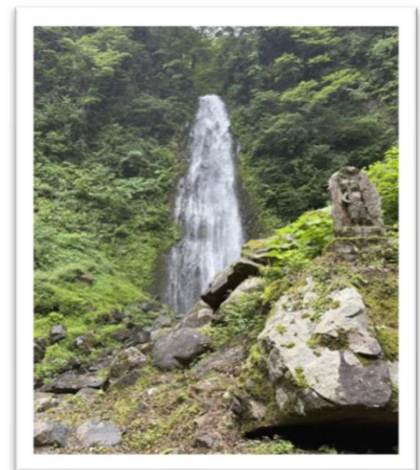


「雨滝 滝開き祭」

を開催しました！

令和5年に台風被害を受け閉鎖していた雨滝の復旧工事が完了し、令和8年7月4日に3年ぶりに「滝開き祭」が開催されました。

復旧工事により、新たに親水広場を設置したり、新たな安全対策を講じたりし、従来の美しい景色を取り戻すとともに自然を安全に体験できるエリアに生まれ変わりました。古くから修行や信仰の場とされ「日本の滝百選」にも選ばれたパワースポットで、マイナスイオンを堪能しませんか。



ヤマメの稚魚放流で自然学習

国府東小学校の児童が袋川で体験

鳥取市国府町の袋川河川敷で、令和8年6月17日、国府東小学校の児童によるヤマメの稚魚放流が行われました。当日は、1・2年生の児童14人が参加。約700匹のヤマメの稚魚を川辺にしゃがみ込みながら「大きく育ててね」と声をかけ、一匹一匹丁寧に放流しました。

本事業は「ヤマメふれあい放流事業」として実施されており、長年にわたり継続されている地域の取り組みです。児童が清流に触れ、生き物とかわる体験を通じて、川や自然環境への関心を高めるとともに、命を大切にすることを目的としています。



参加した児童からは、「元気に大きくなってほしい」「放流できてうれしかった」といった声が聞かれ、自然とのふれあいの中で貴重な学びの機会となりました。本市では、今後もこのような体験活動を通じて、次代を担う子どもたちの環境意識の醸成に努めてまいります。

殿ダムの現場見学会を受付けています



殿ダムの役割・効果の説明

殿ダムの役割や効果を説明します。



ダム内部探検（監査廊）

- ・年中気温15度程度で涼しいです。
- ・急勾配の階段なので、滑りにくい靴を着用。

現場見学会状況（鳥取大学3年生）

殿ダムでは、現場見学会（4名以上）を受付けています。原則、平日9時～16時で、ダムの概要説明・堤体内の案内で、約1時間です。事前にご連絡をお願いします。

【受付窓口】殿ダム管理支所

TEL:0857-58-0581

E-mail : tonodam200m@cgr.mlit.go.jp



とのまるくん

千代川フェスティバル2026

日時：令和8年8月29日（土）10時～15時

場所：八東川水辺プラザ河川公園
（鳥取県八頭郡八頭町久能寺）

問合せ：千代川流域圏会議事務局
国土交通省鳥取河川国道事務所
占用調整課 ☎0857-29-1865



よりよい広報紙づくりにご協力ください。
読者アンケートのお願い



鳥取県防災アプリ

あんしんトリピーなび

鳥取県が提供する無料の総合防災アプリです。
とりネット「鳥取県の危機管理ポータルサイト」や「あんしんトリピーメール」、「避難所・避難場所」、「河川・道路ライブカメラ」の情報等、鳥取県内の危機管理情報をこのアプリで確認できます。

ダウンロードしてね



▲ App Store



▲ Google Play



かっぱ通信

事務局
だより

千代川は6月10日に出水期となりました。急な雨や川の増水に気をつけながら、千代川流域で行われるイベントを楽しみましょう。

お知らせ

次号の千代川ニュースは
12月号(12月下旬発行の予定です)

（発行・編集） 〒680-0803 鳥取市田園町4丁目400番地 千代川流域圏会議事務局

国土交通省中国地方整備局 鳥取河川国道事務所 占用調整課 TEL 0857-22-8435/FAX 0857-29-1859

今までの千代川newsは、ホームページでご覧いただけます。 <https://www.cgr.mlit.go.jp/tottori/river/conference/>